

# 令和元年度の事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 草木谷を守る会

## 1 事業の成果

里山の保全と八郎湖の水源地としての機能確保に努め、地域住民参加型の体験型環境教育の実践、地域の活性化に資することを重視し地道な活動を展開した。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名<br>(定款に記載した<br>事業)    | 具体的な事業内容  | (A)当該事業の<br>実施日時<br>(B)当該事業の<br>実施場所<br>(C)従事者の人数   | (D)受益対象<br>者の範囲<br>(E)人数                | 事業費の金額<br>(単位：千円) |
|---------------------------|---|---|---|-------------------|
| ①環境学習(里山保全と八郎湖の環境再生活動)事業  | 八郎湖の環境と農業との関係をつかむことをねらいとした、潟上市立大豊小学校5学年の環境学習の一環である、「田んぼの楽校」を、無農薬・有機肥料で環境に配慮した稲作を昔ながらの手作業で、年間を通して実施した。   | (A) 5月27日<br>(田植え)<br>7月16日<br>(草取り)<br>9月27日<br>(稲刈り)<br>10月18日<br>(脱穀)<br>11月16日<br>(収穫祭)<br>(B) 草木谷<br>大豊小体育館<br>(C) 17人 | (D) 潟上市立大豊小5年生と関係者<br>(E) のべ310人        | 278               |
| ②地域住民と協働の環境に配慮した酒米栽培交流会事業 | 地域住民(高校生・大学生含む)と協働で、減農薬・有機肥料の環境に配慮した農作業を実践し、「里山保全」と「八郎湖の環境再生」を目指すと共に、参加者に地域資源の大切さを伝えた。                  | (A) 5月27日<br>(田植え)<br>10月22日<br>(稲刈り)<br>2月15日<br>(蔵開放)<br>(B) 草木谷<br>(株)小玉醸造<br>(C) 16人                                    | (D) 環境再生活動と石川理紀之助翁に関心がある方<br>(E) のべ260人 | 299               |
| ③子ども適産調リキンスケ未来塾           | 未来を担う地元の子どもたちが、地元の若い経営者さんや農家さんなどから「どこにでもあってあたりまえのものを宝ものに変える方法」を聞き、その後、地域に眠っているお宝を探す「適産調(フィールドワーク)」を行った。 | (A) 5月26日<br>6月22日<br>7月15日<br>8月10日<br>~11日<br>9月23日<br>10月22日   | (D) 潟上市内在住の小学生から大学生<br>(E) のべ320人       | 1,966             |

|                  |  |   |                                |           |
|------------------|--|---|--------------------------------|-----------|
|                  | <p>リキノスケの精神を受けつぎ、将来、秋田で農業や八郎湖に携わった仕事につき、秋田のお宝を伝えていきたい…という思いで始めた人材育成プロジェクト。</p> | <p>11月16日<br/>12月15日<br/>1月25日<br/>2月24日<br/>3月23日<br/>(B) 石川翁資料館<br/>潟上市内全域<br/>(C) 5人</p> |                                |           |
| ④その他目的を達成するための事業 | <p>ホームページ等による情報の受発信</p>  | <p>(A) 随時<br/>(B) 事務所など<br/>(C) 2人</p>  | <p>(D) 不特定多数<br/>(E) 不特定多数</p> | <p>48</p> |